

財団法人 英語教育協議会

平成20年度(2008年度)事業報告・決算書

平成20年度（2008年度）事業の報告（抜粋）

1. 英語教育に関する研究

"Advisory Board" (委員長：小池生夫 明海大学名誉教授、委員：和田稔 明海大学名誉教授、委員：金谷憲 東京学芸大学教授)を3回開催し、英語教育の現状、『英語展望』のテーマと執筆者、「ELEC英語教育研修会」の構成、テーマ、講師などについて助言をいただいた。

『英語展望』ではCEFR(*)、小池科研を特集し日本の英語教育のあるべき姿を提示した。

「ELEC情報・資料の収集および分析研究グループ」の研究成果は引き続き『英語展望』誌上で発表した。

* = Common European framework of Reference for Languages, Learning, teaching, assessmentの略

2. 英語教員に対する専門的な研修会の開催

(1) ELEC英語教育研修会(The ELEC Seminars for English Teachers)

文部科学省後援のもとに、各1日制の研修会をELEC英語研修所にて中学・高校英語教員を主対象に、27日間の英語教授法・指導法研修会を実施した。

なお、本年度の参加人数は延べ781名で、昭和32年以来の受講者累計は延べ15,257名となった。

(2) その他教育委員会主催 教員研修会支援事業

下記の各教育委員会主催の教員研修会に支援・協力を行った。八王子市教育委員会の研修は2003年度より継続実施。

3. 一般成人に対する英語講習会等の開催

(1) ELEC英語研修所(The ELEC Institute)

2008年度の実受講者数は1.8パーセント前年度を上回り、約半数の実受講者が継続している。また、実受講生は延13名の増(新規実受講生は16名減)になった。教室の使用状況については、朝(午前)9%昼(午後)45%、夜間に関しては75パーセントの実受講率と昨年比微減となった。

勉強方法などについては、下記の項目を実施した。

1. 講師によるレッスン・オブザーブの強化と改善への迅速な対応
2. プライベート・レッスンへの対応力の強化
3. サロンの実施

2008年度のコースは前年度と同様のコース設定にて開講した。今回の試みとして、日本人講師による全くの初心者向け基礎コースを夏学期より開始、秋・冬学期を合わせて延27名の受講があった。また、スタディ・スキル、TOEIC対策コースを運営した。両コース併せて20名未満の実受講者に留まったが、プライベート・レッスン受講者は増加した。

今期の開設コースは下記のとおり

総合英会話コ-ス：

午前部 週2日コース(月・水/火・木)

週1日コース(火/金/土)

午後部 週2日コース(月・水/火・木)
週1日コース(木/金/土)
夜間部 週1日コース(月/火/水/木/金)

試験対策コース:

夜間部 TOEIC受験コース(火/金)
TOEFL受験コース(火/金)

ビジネス英語コース

夜間部 ビジネス英語上級コース(火)
ビジネス英語中級コース(金)
ビジネス英語上級コース(土)

スキル・トピック別コース

リスニング(初級・中級)(火)
ムービー (金)
リスニング(中級) (金)
スタディ・スキル (土)

ディスカッションコース(中・上級) (金)
ディスカッションコース(上級) (金)
ディスカッションコース(上級) (土)

プライベート・レッスン:

従来のレッスンに加えて、受講者への便宜を図るため、制約の少ない下記のレッスンを開始した。
(冬学期から)

- 1) 週1回 月、火、水、木、金の午前・午後(1レッスン50分)
- 2) 受講回数及び曜日・時間等を予め決めるレッスン(1レッスン45分)

本年度の研修所の延べ受講者数は以下の通りであった。*():2007年度

春学期	213名(180名)
夏学期	201名(186名)
秋学期	173名(189名)
冬学期	155名(174名)
合計	742名(729名)

(2)官公庁及び企業研修並びに大学受託講座

ニフコ等数社の大口顧客からの受注が見送りになった。また、経団連を含む既存顧客企業及び官公庁による研修予算の削減が影響して、減収傾向が強まった年度であった。

プラス面としては、警察庁集中研修の獲得及び新規10余社を獲得した。さらに、既存企業の長期顧客としての定着傾向が上げられる。By-Emailコースによる企業内個人受講者に直接指導する新しい形の通信教育を企画し、既存顧客企業にて数名規模で受講者を増やした。

本年度の企業内研修は合計68講座であった。その内訳は30余の官公庁及び企業での研修並びに8大学で実施した37の講座であった。加えて江東区文化センターでの英語講座は、5センターにて合計44講座(前年度42講座)を運営し、オリジナル教材も引き続き使用した。

大学からの受託講座の運営では既存の講座に加え、神奈川大学経済学部での新規受託講座を獲得し、実施した。学年末のTOEIC平均スコアは、100点アップとなり初年度の運営として高い評価を得た。

また、国際短期大学及び熊本大学東京サテライトでの新規受託講座を獲得実施した。大学教育市場においては、卒業後の実務レベルでの英語運用力が問われていることからELECに対する役割期待は大きく今後も積極的に講座受託に取り組みたい。

(3) プライベート・レッスン

ここ数年、個別の需要に応じてプライベートレッスンを希望する受講生が増加している。

08年度は、年間65名であった。因みに過去3年の受講者数は、05年度、40名 06年度、47名 07年度、62名であった。

(4) 英文添削

本年度の英文添削サービスの利用件数は個人16名並びに法人2社であった。依頼内容は主として海外大学院応募論文や研究論文の添削、中学/高校教材原稿、また、添削に関連して小規模での翻訳業務を開始した。出版社からのイラストブックの英語部分校正、英語表記を伴う地図の英語部分の作成及び新宿区・牛込地区案内の英語部分の作成等があった。

4. 英語教育に関する資料の頒布

(1) 定期刊行物

- ・ 『英語展望』(ELEC Bulletin) 第116号
特集『世界水準の英語教育を考える』

- ・ English Teaching FORUMの頒布 Vol.46 Nos. 1, 2, 3, 4

(2) 録音教材

昨年同様、諸教育団体、各種学校、出版社等のための語学教材等の録音を行った。

5. 英語教育の研究に対する援助と助言

ELEC賞

2008年度のELEC賞は、厳正な審査の結果、A・B部門各1名が受賞された。

A部門 「発音記号の指導を取り入れた中学校の英語教育実践 効果的な発音記号指導を目指して」
八幡浜市立愛宕中学校 武田千代城

B部門 「高校生の英語読解と聴解におけるストラテジー使用意識 - 効果的な読み方・聞き方を探る」
日本大学豊山女子中学校・高等学校 行森まさみ

本ELEC賞の提供を通じて最新の現場教育の立場と教授法の理論的研究等を収集し、英語展望へ掲載することにより周知をはかった。また、「愛媛新聞、八幡浜新聞、日大新聞」にもELEC賞が掲載されELEC賞及びELECのPRにつながった。

6. 語学教育研究諸機関との連絡協力

諸大学、言語教育研究諸機関との間に、刊行物の相互交換を行った。また、「日本外国語教育改善協議会」にELECの職員を参加させ積極的に協力した。尚「日本外国語教育改善協議会」はELECほか主要英語教育研究団体及び高等学校ドイツ語教育研究会で構成され、外国語教育の現状に対する認識及び将来への展望に基づき改善策を講じ、アピールをまとめて行政機関に提言を行っている。

7. その他の事業

英語を実践する企業等の現場と英語を教育する現場との乖離の実態を明らかにして、ELECとしての実践的な提言を行なう。具体的には下記の活動を行なった。

- ・ 小池理事の科研(平成16年～19年度科学研究費補助金研究)に基づく調査研究の成果を『英語展望』誌上にて発表した。
- ・ ELEC英語サロンの実施 2008年10月 テーマ：通訳者が語る英語学習法
講師：小松達也 参加者30余名

2009年1月 テーマ：落語で英語を学ぶ
講師：須藤達也 参加者30余名
- ・ ELEC賞授与式・特別講演会 テーマ：イギリス伝承童謡と英語教育 “マザー・グース”
から学ぶ言語リズム
2009年2月 講師：鷺津名都江 参加者40名

正味財産増減計算書 総括表

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

(単位:円)

科 目	本会計	特別会計	内部取引消去	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	18,454,114			18,454,114
会費収入	0			
事業収益	144,893,797	160,011,130		304,904,927
寄付金収入	0			
雑収益	3,492,541	144,848		3,637,389
特別会計からの繰入金収入	110,690,000		-110,690,000	0
経常収益計	277,530,452	160,155,978	-110,690,000	326,996,430
(2) 経常費用				
事業費	182,016,280	97,273,405		279,289,685
管理費	101,284,281			101,284,281
本会計への繰出金支出		110,690,000	-110,690,000	0
経常費用計	283,300,561	207,963,405	-110,690,000	380,573,966
当期経常増減額	-5,770,109	-47,807,427	0	-53,577,536
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0		0
(2) 経常外費用				
基財有価証券評価損	36,466,000			36,466,000
投資有価証券評価損	0			0
経常外費用計	36,466,000	0	0	36,466,000
当期経常外増減額	-36,466,000	0	0	-36,466,000
当期一般正味財産増減額	-42,236,109	-47,807,427		-90,043,536
一般正味財産期首残高	872,658,803	282,062,377		1,154,721,180
一般正味財産期末残高	830,422,694	234,254,950		1,064,677,644
正味財産期末残高	830,422,694	234,254,950		1,064,677,644

本会計 正味財産増減計算書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

(単位 :円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	18,454,114	21,805,595	-3,351,481
会費収入	0	0	0
事業収益	144,893,797	138,716,922	6,176,875
寄付金収入	0	0	0
雑収益	3,492,541	4,723,056	-1,230,515
特別会計からの繰入金収入	110,690,000	0	110,690,000
経常収益計	277,530,452	165,245,573	112,284,879
(2) 経常費用			
事業費	182,016,280	177,480,917	4,535,363
管理費	101,284,281	100,168,572	1,115,709
経常費用計	283,300,561	277,649,489	5,651,072
当期経常増減額	-5,770,109	-112,403,916	106,633,807
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
基本財産有価証券評価損	36,466,000	0	36,466,000
投資有価証券評価損	0	20,979,000	-20,979,000
経常外費用計	36,466,000	20,979,000	15,487,000
当期経常外増減額	-36,466,000	-20,979,000	-15,487,000
当期一般正味財産増減額	-42,236,109	-133,382,916	91,146,807
一般正味財産期首残高	872,658,803	1,006,041,719	-133,382,916
一般正味財産期末残高	830,422,694	872,658,803	-42,236,109
正味財産期末残高	830,422,694	872,658,803	-42,236,109

特別会計 正味財産増減計算書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

(単位 :円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益	160,011,130	163,841,416	-3,830,286
雑収益	144,848	120,258	24,590
経常収益計	160,155,978	163,961,674	-3,805,696
(2) 経常費用			
事業費	97,273,405	83,635,974	13,637,431
本会計への繰出金	110,690,000	0	110,690,000
経常費用計	207,963,405	83,635,974	124,327,431
当期経常増減額	-47,807,427	80,325,700	-128,133,127
当期一般正味財産増減額	-47,807,427	80,325,700	-128,133,127
一般正味財産期首残高	282,062,377	201,736,677	80,325,700
一般正味財産期末残高	234,254,950	282,062,377	-47,807,427
正味財産期末残高	234,254,950	282,062,377	-47,807,427

貸借対照表 総括表

平成21年3月31日現在

(単位:円)

科 目	本会計	特別会計	内部取引消去	合計
I 資産の部				
1.流動資産				
現金、預金 他	24,783,888	63,259,195		88,043,083
本会計勘定		258,212,082	-258,212,082	0
特別会計勘定	-258,212,082		258,212,082	0
2.固定資産				
基本財産	874,345,000			874,345,000
その他の固定資産	167,831,118			167,831,118
資産合計	808,747,924	321,471,277	0	1,130,219,201
II 負債の部				
1.流動負債	16,564,629	14,311,928		30,876,557
2.固定負債	34,665,000			34,665,000
負債合計	51,229,629	14,311,928	0	65,541,557
III 正味財産の部				
一般正味財産	757,518,295	307,159,349		1,064,677,644
(うち基本財産への充当額)	874,345,000	0		874,345,000
正味財産合計	757,518,295	307,159,349	0	1,064,677,644
負債及び正味財産合計	808,747,924	321,471,277	0	1,130,219,201

本会計 貸借対照表

平成21年3月31日現在

(単位 :円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1.流動資産	-233,428,194	19,270,864	-252,699,058
2.固定資産			
基本財産	874,345,000	916,591,000	-42,246,000
その他の固定資産	167,831,118	232,293,140	-64,462,022
資産合計	808,747,924	1,168,155,004	-359,407,080
II 負債の部			
1.流動負債	16,564,629	19,370,733	-2,806,104
2.固定負債	34,665,000	52,411,000	-17,746,000
負債合計	51,229,629	71,781,733	-20,552,104
III 正味財産の部			
一般正味財産	757,518,295	1,096,373,271	-338,854,976
(うち基本財産への充当額)	874,345,000	916,591,000	-42,246,000
正味財産合計	757,518,295	1,096,373,271	-338,854,976
負債及び正味財産合計	808,747,924	1,168,155,004	-359,407,080

特別会計 貸借対照表

平成21年3月31日現在

(単位 :円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1.流動資産	321,471,277	70,070,797	251,400,480
資産合計	321,471,277	70,070,797	251,400,480
II 負債の部			
1.流動負債	14,311,928	11,722,888	2,589,040
負債合計	14,311,928	11,722,888	2,589,040
III 正味財産の部			
一般正味財産	307,159,349	58,347,909	248,811,440
正味財産合計	307,159,349	58,347,909	248,811,440
負債及び正味財産合計	321,471,277	70,070,797	251,400,480

財産目録

平成21年 3月 31日現在

(単位 :円)

科 目		金 額	
I	資 産 の 部		
	1.流 動 資 産		
	現金	552,329	
	預金	26,778,192	
	受取手形	0	
	売掛金	41,836,044	
	仮払金	0	
	前払金	3,822,769	
	未収金	4,659,094	
	商 品	10,394,655	
	流動資産合計		88,043,083
	2.固 定 資 産		
	基 本 財 産		
	預金・国債	874,345,000	
	基本財産合計	874,345,000	
	その他の固定資産		
	設 備	44,736,459	
	備 品	2,431,241	
	投資有価証券	81,040,378	
	職 員 融 資 金	0	
	保 証 金	39,623,040	
	その他の固定資産合計	167,831,118	
	固定資産合計		1,042,176,118
	資 産 合 計		1,130,219,201
II	負 債 の 部		
	1.流 動 負 債		
	未払金	27,819,275	
	前受金	1,735,022	
	買掛金	168,230	
	預り金	1,154,030	

流動負債合計		30,876,557	
2.固定負債			
退職給付引当金	34,665,000		
固定負債合計		34,665,000	
負債合計			65,541,557
正味財産			1,064,677,644